

折に触れ 四字熟語

NO. 76 〔北轅適楚〕 ほくえん てきそ 〔北轍南轅〕 ほくてつ なんえん

< 意味 > 目的と行動とが相反するたとえ。車のながえを北に向けて、南の楚に行く意から。
「ながえ轅を北にして楚にゆ適く」と訓読する。「適楚北轅（てきそほくえん）」も同じ。
「北轍南轅」は「南轅北轍（なんえんほくてつ）」ともいう。

出典：『しんかん申鑒』 ざつげん雑言・下

語釈：「轅」はながえ。車の前方に二本出ているかじ棒。「北轅」は、ながえを北に向けて北に進むこと。「轍」はわだち。車の輪の通ったあと。「適」は行く意。「楚」は南方の楚の国。

一言：方角シリーズ その2

NO. 75で「北轍南轅」に触れましたので」取り上げました。

参考文献：岩波書店「四字熟語辞典」